

観光立県くまもと 今、新しいスタートのユキ

●TAP90's「第1回観光立県推進地方会議」

TAP90's
TOURISM ACTION PROGRAM

「観光は一過性のものと受け取られがちだが、公共事業より波及効果が大きい。これからもっと大きな意義を持つことになると思う。」

「美しい雄大な大自然は神から与えられたもの。歴史的文化的史跡は祖先からの贈りもの。永遠に大事にしていかなければならないと痛感した。」

白熱した議論が続いています。ここは、真新しい船体が美しい豪華客船「おせあにつく・ぐれいす号」(五〇五〇ト、全長百三三メートル)船内。穏やかな不知火海の波を身近に感じながら、熊本・長崎両県の観光立県推進について話し合う第1回「観光立県推進地方会議」。雨混じりの少し肌寒い四月十四日。こうして代表者約五十人を乗せた「おせあにつく・ぐれいす号」は、熊本の三角港を出発しました。



ことしはおトクでうれしい
熊本・長崎の旅



「90年代観光振興行動計画(Tourism Action Program 90's=TAP 90's)」運輸省が、観光のより一層の振興を図るため提唱した施策です。その中で、観光立県推進会議は関係者が集まり、具体的な施策を提言、実行に移そうというもの。熊本県は、昭和63年度からの「超魅力くまもと」計画、昨年のデイスティネーション・キャンペーンと観光振興に力を注いでいます。そんな中で、長崎県と共に第一回地方会議開催地に選ばれたことには大きな意義があります。温泉地の活性化、滞在型リゾート地の整備など観光資源・施設の



充実。道路混雑解消など交通アクセスの問題。カルチャーカーや全国キャンペーンなどサービス・人材・PR面そして、島原―天草―南九州の連結橋などの広域的な観光ネットワークの実現。以上の4つの点を中心に、不知火海の洋上でホットな討論が繰り広げられました。

世界最大のカルテラ火山阿蘇、名城の誉れ高い熊本城など熊本は自然と文化と歴史に溢れています。昭和62年の観光客数は、史上最高の三千二百三万人(対前年比7.7%増)。日本でも有数の伸び率を誇っています。しかし、宿泊者の比率が低いなど課題も様々。今回の会議では、いろいろな立場から両県の抱える問題が浮き彫りにされ、その対応策について様々な提言がなされました。

そして、熊本・長崎両県を対象とする全国規模の統一キャンペーン展開も決定。ことしはおトクでうれしい

熊本・長崎の旅。キャンペーンの実施期間は、今年の十一月から一月まで。期間中は、多くのイベントやウェルカム・グッズなどで賑わいます。

日本の旅、再発見「TAP90's」。様々な問題を抱えながらも、地域の新しい魅力づくりのための出発点となることは間違いありません。

EVENT SCHEDULE

イベント・スケジュール

- 10月31日～11月3日—TAPオープニングイベント「アジアコレクション」(熊本県立劇場全館)
- 11月1日～26日—SL「あそBOY」阿蘇路を行く(熊本駅～宮地駅)(11月16日・17日を除く)
- 11月2日—やつしろ全国花火競技大会(八代球磨川河畔)
- 11月18日—九州三大祭りの一つ—妙見祭を見よう(八代市)
- 1月27日～28日—中江神楽33座の舞(熊本県立劇場)
- 1月～2月 毎週日曜日—氷上全国綱引き大会(阿蘇東急スケートセンター)
- 2月28日—木原の不動さん(富合町 木原不動さん)

